

図書館フェスタ & みんなみフェスタ 開催しました！

図書館フェスタ(本館)



フェスタ当日の様子

心地よい晴れ空の中、10月28日(土曜日)に第8回図書館フェスタを開催しました。普段は入ることのできない庭での音楽演奏や本の販売、館内では図書館サポーター「本の修理屋さん」による修理実演や、布えほん体験コーナー、「みたかとしょかん図書部！」のなぞ解き企画、館内外でのおはなし会、多言語おはなし会など、イベントプログラムが盛りだくさんでした！

ご参加、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

なお、図書館サポーター結成10周年を迎える今年も、ぜひ開催できればと思っています。

南部図書館みんなみでは、記念すべき開館10周年を迎え、「みんなみフェスタ」を11月23日(木曜日・祝日)に開催しました。

午前には、中央大学森茂岳雄名誉教授をお迎えして「多世代共生時代の教育に求められるもの」をテーマに、「異己」理解やマジョリティの特権性への気づき等について、ご講演をいただきました。約20名が来場し、ワークショップの中で活発な議論が展開されていました。

午後からは、ナータラック・タイ舞踊団をお迎えして「タイ舞踊」を演舞していただきました。約40名が来場し、最後はみんなで乱舞する等、非常に盛り上がりました。また、子ども向けおはなし会、児童書リサイクル市、カフェサービスも実施しました。アジア・アフリカ図書館では、古本市も行われました。みんなみフェスタに向けての花壇の植え替え、館内装飾、カフェサービスなど、みんなみサポーターの皆様に支えられて、フェスタを終えることができました。ご協力ありがとうございました。来年も皆さんに楽しんでいただけるような、みんなみフェスタを企画していきたいと思っています。

祝！10周年！ みんなみフェスタ (南部図書館)



「ナータラック・タイ舞踊団」による
タイ舞踊公演

秋のみたか子ども読書フェア

10月24日(火曜日)～11月12日(日曜日)

「秋のみたか子ども読書フェア」を開催しました。

おはなし会では、身近な秋をテーマにしたおはなしや、ハロウィンに合わせてちょっぴりこわいおはなしをしました。また、各館と井の頭CC図書室では、図書館員と子どもたちがおすすめの本を紙で包み「おたのみみパック」として貸し出す企画を実施しました。1,014セット、合計2,266冊もの本が貸し出しされました。ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

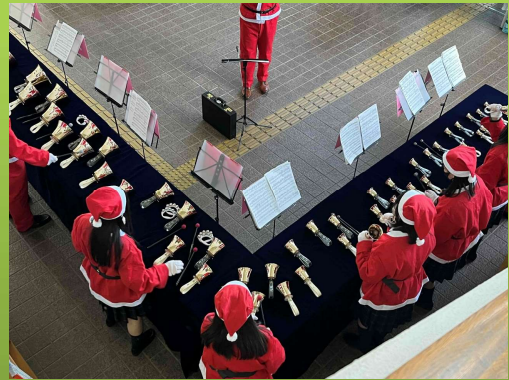
ワークショップ くまの子ウーフのおうちをつくろう

12月17日(日曜日)、小学生9人でウーフのおうちに色塗りをしました。

キッシー先生(岸下 顕師(きしした けんし)さん)のアドバイスのもと、とても素敵なおうちに仕上がりました。お手伝いをしてくれた皆さん、ありがとうございました！完成したウーフのおうちは、展覧会「神沢利子さんおめでとう100歳展 北と星といのちと～同じうたをうたいつづけて～」(詳細は図書館だより1面をご覧ください)で展示します。こちらぜひ、お立ち寄りください。

「大成高校ハンドベル部 演奏会」

12月19日(火曜日)、三鷹図書館(本館)で大成高校ハンドベル部による演奏会を開催し、クリスマスにちなんだ素晴らしい演奏を披露していただきました。
演奏会終了後には、ハンドベルの体験会も行い、子どもたちにハンドベルの鳴らし方を楽しく教えてくれました。
ハンドベル部の皆さん、ありがとうございました!



「みたか電子書籍サービス利用講座」



12月10日(日曜日)に、みたか電子書籍サービスの利用講座を開催しました。4人に参加いただき、電子書籍の検索から予約、貸出など一通りの流れを体験いただきました。少人数開催ということもあり、皆さんから気軽に質問をしていただくことができました。講座終了後、「とても楽しかった」というお言葉をいただくことができ、講師も職員もとてもうれしく思いました。電子書籍に限らず、図書館システムをもっと便利に使っていただけるよう、イベントを実施していきたいと思えます。



図書館員おすすめの1冊

ふりさけ見れば 上下巻

安部龍太郎／著 日経BP日本経済新聞出版 2023.7
9分類(文学) 913.6キ

百人一首の「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の作者である阿倍仲麻呂の、日本に帰ることができなかった遣唐使としての人生が描かれています。唐で科挙に合格し、玄宗皇帝と楊貴妃に仕えた仲麻呂が様々な困難を乗り越えていく姿がとてもよかったです。

返らぬ日

吉屋信子／著 河出書房新社 2023.7
9分類(文庫) B 913.6ヨ

約100年前に書かれた、少女たちの「あぶのうまる」な恋の本です。情熱的な両想いだけでなく、ほのかな思慕や憧れもふくめた色とりどりの短編と、エッセイ「同性を愛する幸い」が収録されています。女性の自立が今よりずっと困難だった時代に、女学生たちが心ときめかせた物語を、読んでみませんか?

ポラン先生ときけんなマジックショー

北川 佳奈／作・絵 小学館 2023.4
児童書 91キ

擬人化した狸の小説家と、鴨のマジシャンの物語です。2人の不思議な出会いや、2人の旅の行程など、ファンタジーに包まれた1作です。最初は、いがみ合っていた2人ですが、物語が進むにつれて、微妙な絆が、紡がれていきます。児童書ですが、ぜひ、大人の方も、目を通してください。

縄文人がなかなか稲作を始めない件
- 縄文人の世界観入門

苗木あみ／著 かもがわ出版 2022.12
2分類(日本史) 210.2

約1万年続いたという縄文時代。稲作せずに定住していた人々はどんな生活を送っていたのか、気になりませんか? 季節に合わせた生活スタイルで意外と豊かに暮らしていたのかも? 衣食住や死生観、現代に残る縄文文化など、著者の想像を加えながら分かりやすく説明してくれます。古代に興味がある方へおすすめです。

イベント

三鷹市文庫連絡会講習会「体験と響きあうと、科学絵本はもっと楽しくなる。」

科学絵本を楽しむコツは、体験を通して絵本と共感すること。『バナナのはなし』や『小さな小さなウイルスの大きなはなし』の著者伊沢尚子さんから、日常の中の体験と科学絵本をつなぐ楽しいお話を伺います。

日時：1月21日(日曜日)
午後2時～4時(受付開始午後1時45分)
会場：三鷹市立三鷹図書館(本館)第一集会室
講師：伊沢尚子さん(サイエンスライター)
受講料：無料
募集人数：50人
※当日先着順、子連れ入場可(託児なし)



『バナナのはなし』伊沢尚子/著
福音館書店 2013年

展示報告

障害者週間「心のバリアフリー」企画展示

12月5日(火曜日)～12月10日(日曜日)

本館では市障がい者支援課と協力し、「災害に備えて実践してみた！」と題し、「当事者の立場」で実施した内容のパネル展示や、防災に関連する本を紹介しました。



連雀学園合同開催しおりデザインコンテスト展

12月12日(火曜日)～12月24日(日曜日)

連雀学園(四小・六小・南浦小・一中)で行われたしおりデザインコンテストの受賞者の作品を本館で展示しました。



図書館だよりNo.51 冬号 令和6年1月16日発行
編集・発行：三鷹市立図書館

三鷹図書館(本館)	上連雀 8-3-3	TEL0422-43-9151
東部図書館	牟礼 5-8-16	TEL0422-49-3851
西部図書館	大沢 2-6-47	TEL0422-33-1311
三鷹駅前図書館	下連雀 3-13-10	TEL0422-71-0035
南部図書館みんなみ	新川 5-14-16	TEL0422-76-5571
(連携館)		
井の頭 CC 図書室	井の頭 2-32-30	TEL0422-44-7321

<https://www.library.mitaka.tokyo.jp>

三鷹駅前図書館
エレベーター改修工事のお知らせ

三鷹駅前コミュニティ・センターのエレベーター改修工事を引き続き実施しています。

◇1台のみ利用できる期間

令和5年11月1日(水曜日)～3月末日

※工事の進捗状況により日程等が変更になる場合があります

◇2台とも利用できない期間

1月16日(火曜日)・17日(水曜日)

※17日は図書館休館日

1月27日(土曜日)

※いずれも17時30分以降、エレベーターが利用可能になります。(時間は変更になる場合があります。)



井の頭コミュニティ・センター図書室
臨時休館のお知らせ

臨時休館日 2月8日(木曜日)～9日(金曜日)

利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いします。